

令和3年12月16日(木)

技能五輪全国大会 電子機器組立て職種

～ メカトロ部 ～

技能五輪全国大会（厚生労働省・中央職業能力開発協会主催）とは国内の青年技能者の技能レベルを競うことにより、青年技能者に努力目標を与えるとともに、広く国民一般に対して、技能の重要性や必要性をアピールすることにより、技能尊重気運の醸成を図ることを目的とする大会です。

電子機器組立て職種とは、電子回路実装基板への部品の取付けやプリント配線板への接続・接着等により、電子回路を内蔵した各種機器の総合的な組立て及び点検を行い、併せてプログラミングを行い課題を完成させる作業です。

今大会に至るまでには、1次選考会・2次選考会を勝ち抜かないと進めません。本大会では企業34名、職業大学校9名、高校生7名合計50人が出場しました。この大会は2年に1度国際大会が行われるなど、大手企業も若手社員の教育の一環として社名をかけて熱心に参加しておりますが、その中で4名が本校生徒であり、そのうちの3名は2年生で、出場する職種の中では史上最年少でした。

大会は東京ビックサイトで行われ、今月16日（木）から準備、3日間に及ぶ競技と開閉会式と5日間に渡って行われます。

大会結果は、電子機械科2年の川手陽斗さんが全体で38位（高校生では全国1位）、情報電子科3年の荻家適太さんが全体で39位（高校生では全国2位）でした。また川手さん、荻家さんは2社もの企業選手よりも得点を上回り、企業の方々からも驚かれました。川手さんは「3年間努力した結果が実りとても嬉しいが、時間を上手に使えばもっと順位を上回ることができた。来年度出場する後輩達に技術を託しがんばってほしい」と語ってくれました。

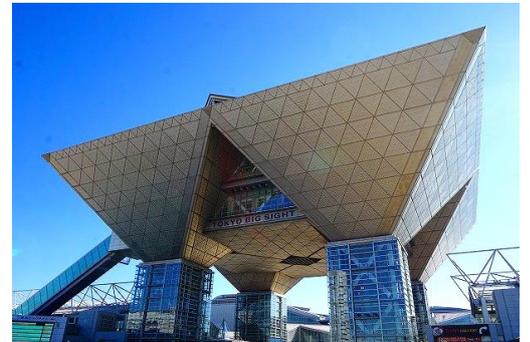
また、卒業生でメカトロ部OBの松田武流選手（本田技研工業株式会社所属：電子機械科卒）も参加しており、銀メダルを獲得しました。先輩方も総勢7名参加しており活躍も素晴らしいです。

この大会で得た経験により開発者の道を歩んで、松工の百錬鉄魂を受け継いで欲しいです。



参加選手

左端から石田さん、荻家さん、川手さん、重松さん



東京ビックサイト(大会会場)



大会の様子(川手選手)



大会の様子(荻家選手)



大会の様子(重松選手)



会場の様子



大会の様子(石田選手)